

## 【箕輪】SC 認証日を安全安心の日に

3月17日、箕輪町は、3月町議会定例会で、箕輪町がSCとして認証された5月12日(2012年)を「箕輪町安全安心の日」とすることを宣言しました。

「安全安心の日」の制定は、昨年12月の町議会一般質問での提案をうけ、SC推進協議会で検討を開始し、「理念を再認識し、全町内への普及啓発には必要」との考えで一一致し、実現に至りました。

今後は、毎年5月12日前後にフォーラムなどのイベントを計画していくとのことです。

## 【豊島区・松原市】SC 友好都市との交流

3月17~21日、SC活動が活発な台北市文山区の視察団が来日し、SC友好協定を結んでいる東京都豊島区と大阪府松原市を訪れました。

まず、3月18日に松原市を訪れ、松原市の取組についてご報告を受けた後、市内での取組を視察しました。また、対策委員会のみなさんとも懇親会等を通して交流を深められました。



20日は豊島区を訪問され、「区民ひろば」や、セーフスクール活動を推進している朋有小学校を訪問し、有意義な時間を過ごされました。

文山区は、台湾のなかでもSC活動が活発なコミュニティです。豊島区も松原市も認証前に文山区を訪問し、台湾らしい活動から学ぶ機会をいただきました。今回は、いずれの自治体においても半日程度の滞在で時間は限られていましたが、日本の取組みを参考にしていただけると幸いです。松原市さん、豊島区さんには、お忙しい時期にもかかわらず、文山区からのご依頼を快く受けてくださり、交流の場を設けてくださったこと、台湾および日本のSC支援センターともに感謝しています。

## 【甲賀市】5月に向けて取組を推進中

3月24日午前、甲賀市長と面談しました。市長からは、SCを通したまちづくりのビジョンをお聞かせいただきました。また、市長は、「(ご自分がSC導入を決意した以上)しっかりと取組を地域に根付かせ、展開される責任を感じています！」とSC推進に対する強い意志を示されました。



午後からは、サーベイランス委員会(第3回)と対策委員会事務局の調整会議(第5回)が開催されました。まず、サーベイランス委員会では、各対策委員会がこれまでの議論のまとめを報告しました。この報告は、5月に予定されている専門家による視察での報告のたたき台となることから、サーベイランス委員は、「〇〇〇に関するデータを加えたほうがよいのではないかな」「甲賀市の△△といった点を示すことも重要ではないかな」など、どのように甲賀市の課題をデータから示せるか、という点から質問やアドバイスなどが出されました。

サーベイランス委員会の後には、第5回対策委員会事務局調整会議が開催され、先のサーベイランス委員会が出された意見やアドバイスをどのように報告や取組に反映させるかを議論するとともに、プレゼンテーションの際の留意点がJISCにより提示されました。

## 【北本市】外傷サーベイランス委員会

3月25日、北本市では外傷サーベイランス委員会が開催されました。まず、この2月に市内で外科・整形外科を標榜している医療機関(10か所)および柔道整復施術所(3か所)を対象に実施した「けがや事故等に関するアンケート調査」の結果について事務局から報告がありました。また、調査後に調査にご協力いただいた医療機関に対するアンケートを実施し、「負担の程度」や「実施したらよいと思われる時期」などについて意見をいただき、今後の参考となる情報をえることができた旨、報告されました。

その後、今回の医療機関を対象とした外傷に関するデータ収集の経験も踏まえ、どのように外傷サーベイランスの仕組みを構築していくか、について議論がなされました。

最後に、現時点での各対策委員会の取組状況に関する情報提供があり、昨年秋に実施した海外専門家による視察以降、ぐんぐんと取組が進んでいる様子をご紹介いただきました。

## 【秩父市】埼玉県でSCについて報告

秩父市は、3月26日に埼玉県共助社会づくり課が主催する「彩の国コミュニティ協議会企画委員会」で、県内市町村コミュニティ担当、埼玉県各地域振興センター職員約70名を対象に、SCについて事例報告をしました。

今回の事例発表は、秩父市のSC推進事業が、先進的な共助社会づくりのための取組みであるということで、助成金をいただいております。その具体的な活動内容について発表したものです



発表後、所沢市、八潮市など、複数の自治体の方々から、たいへん興味深い取組みだということで質問がありました。秩父市SCご担当として当日報告された山田さんによると、どの自治体でも、共助の仕組みづくりには苦慮されているようで、セーフコミュニティのような取組みには関心が高いようだったとのことでした。

## 【亀岡市】外傷サーベイランス委員会

3月26日、亀岡市では、外傷サーベイランス委員会を開催しました。まず、各種統計データの分析結果をもとに、安全状況の確認が行われました。続いて、2012年の救急搬送データ分析結果の概要を、2010年、2011年と比較しつつ報告されました。

それらをもとに、再認証されてから1年間の取組みについて、進捗状況について確認するとともに、設定された評価指標が適切であるか、持続可能であるか、などが取組ごとに協議されました。委員会からは、「けが予防のために運動能力を高めると、子どもはもっと活発になる。そうすれば、小さなけがをする可能性は高くなる。一番けがが少ないのは、部屋でじっとして動かない子どもだ。とすれば、指標とするのは、小さなけがまで全て含むのではなく、医療機関での治療を必要とするようなけがに焦点を当てた方がよいのではないか」といった現場の状況を反映した意見もいただきました。取組みの一つひとつ議論をしたため、3時間近くかかりましたが、取組みの進捗状況にあわせて指標を見直す貴重な機会となりました。



## 【小諸市】対策委員会のアイデア具現化！

小諸市は4月から、徘徊などの症状がある認知症高齢者を対象に、靴のかかとに貼る反射材のステッカーをご本人やご家族の申請に基づいて無料で配布します。

ステッカーは赤と黄色の2種で、小諸市のSCシンボルマークの「こもえみちゃん」が入ります。黄色は「声掛け」の対象で、付けた人を見かけた場合には、「どこへ行くのですか」などと話し掛け、道案内することなどを求めます。赤色は1人で歩かないことが前提の「保護」の対象者なので、見掛けただけで引き留め、市役所の高齢福祉課に連絡するよう求めることとしています。



SCキャラクター「こもえみちゃん」入りステッカー  
(写真は、信濃毎日新聞より転載)

## 【鹿児島市】推進協議会および

### 外傷サーベイランス委員会

3月28日、鹿児島市では、外傷サーベイランス委員会および推進協議会を開催しました。まず、サーベイランス委員会では、7つの対策委員会が取組の進捗状況を報告しました。このなかで、前回の会議で委員会から外傷サーベイランス委員会のメンバーである消防や警察に依頼したデータがどのように入手されたか、どのように活用されているかが報告された後、10月から11月にかけて実施した「事故やけがに関するアンケート調査」の概要の報告がありました。報告に続いて、医療機関における外傷関連データの収集方法について議論がなされました。JISCからは、他の自治体がどのように進めているかを紹介し、その情報を踏まえて、他の委員から意見がだされました。

同日午後には、推進協議会が開催されました。サーベイランス委員会と同様に各対策委員会から進捗状況とアンケート調査結果の報告がありました。鹿児島市は、対策委員会ごとに「モデル地区」を設置して取り組んでいる点の特徴です。JISCからは(推進協議会のメンバーとして)この「モデル地区」の位置づけや目的を明確にすることが今後の展開を考えるうえで重要である点、アンケート調査結果のフィードバックは、単に分析結果を公表するだけではなく、「調査結果を反映し、〇〇〇という取組の×××という点を改善(あるいは、変更・修正など)しました」といった取組みへの影響とセットで示すことがポイントであることをお伝えしました。

【発行】一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構  
※問い合わせは下記ヘッダーの連絡先まで